

～～～第8760回～～～

日和田山～物見山

～R1. 9. 22～

圏央道狭山インターを降りて、日和田山登山口で車から降りる。登山口より10分程登り始めると、男坂女坂の分岐あり、男1名女6名のメンバーは岩場が連続した男坂を進む。途中見晴らしの丘に立ち寄って、かすんだスカイツリーらしきものを眺める。ロッククライミング練習の大岩を巻いて、坂を上りきると金毘羅神社の二の鳥居に出る。眼下に巾着田が一望できた。残念ながらヒガンバナはまだ開花していなかったため、赤く染まった巾着田の景色を眺めることは出来なかった。ここより10分程登ると4等3角点がつ日和田山頂に到着。舗装道路に出て進む先に、「高指無線中継所取り壊し」の看板がある。どうやらこの中高指山山頂らしいけれど、立ち入る事が出来なかった。駒高部落のお休みどころに荷を降ろしてトイレを拝借した後、スギ・ヒノキ林のアップダウンの少ない登山道を進むと、物見山に着く。山頂より50mほど進んだ先に、ひっそりと1等3角点がある。山頂へ戻って休息ののち、宿谷の滝を目指して岩道の急坂を慎重に下る。明るい岩場から、やがてうす暗い森の中に入り、木製の橋を渡ると、「パワーサポート宿谷の小滝」の看板あり、さほどのパワーを感じることは無かったが、東屋で早めの昼食を済ませる。暗闇の中一直線に落ちる宿谷の滝は、苔むした岩壁にイワタバコの群落が見られ、家族連れでにぎわっていた。車道に出て200m下り、分岐を鎌北湖に向かう。「鎌北湖は坂の上を右に進む」との案内板に従い進む。ところがその後は標識もテープも全く見当たらない、少々不安を感じながら先に進むと、やがて鎌北湖に着いた。今日のコースは地元小学生の遠足コースとなっていて、整備された登山道には、日和田山登山口と金毘羅神社の二の鳥居には記念のスタンプ台が設置され、工夫が感じられる楽しいコースでした。帰路ムーミンバレーパークに立ち寄る。あまりの混雑に入園を諦めて帰る。(入園料大人1500円也)

参加者：7名(沼津)

天気：晴

地図：飯能

コースタイム：沼津500＝日和田山登山口705-10…見晴らしの丘740…金毘羅神社二の鳥居750…日和田山805-15…高指山845…駒高900…物見山925-50…宿谷の小滝1035…東屋1050-1120…宿谷の小滝1130…鎌北湖1200＝ムーミンバレーパーク1230-1320＝沼津1600

記録：沼津支部 T・S